

予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会]

1 日 時 令和元年7月1日（月曜日）

開 会 午後 1時10分

閉 会 午後 1時21分

2 場 所 議 場

3 出席委員 36人

委員長 柞 山 数 男

副委員長 堀 江 かず代

委 員 久 保 大 憲

// 松 井 邦 人

// 金 谷 幸 則

// 泉 英 之

// 岡 部 享

// 竹 田 勝

// 上 野 蛍

// 木 下 章 広

// 押 田 大 祐

// 江 西 照 康

// 高 田 真 里

// 高 道 秋 彦

// 島 隆 之

委 員	東	篤
//	金 井 毅	俊
//	小 西 直	樹
//	大 島	満
//	成 田 光	雄
//	松 尾	茂
//	尾 上 一	彦
//	橋 本 雅	雄
//	松 井 桂	将
//	横 野	昭
//	村 石	篤
//	佐 藤 則	寿
//	金 厚 有	豊
//	鋪 田 博	紀
//	高 田 重	信
//	赤 星 ゆかり	
//	村 上 和	久
//	村 家	博
//	有 澤	守
//	高 見 隆	夫
//	五 本 幸	正

4 欠席委員 0人

5 職務のために出席した者

【議会事務局】

参事（議事調査課長）	福原	武
議事調査課長代理	石黒	隆司
議事調査課副主幹（議事係長）	中山	崇
議事調査課主査	大塚	宏明
議事調査課主査	酒井	優
議事調査課主査	本田	宏之
議事調査課主任	平瀬	航

6 会議の概要

委員長 ただいまから、予算決算委員会を開きます。
委員長より一言、発言をお許しいただきたい
と思います。

去る6月28日早朝、我々の同胞である石森
正二議員が突然逝去されました。我々もひと
しおに驚き、悲しみ、ましてや御家族の皆様
にはこの上ない悲しみであったろうと推察す
るものであります。

先週火曜日の経済環境委員会で、石森さんら
しい、こつこつと真面目な質問をしておられ
た、その姿を思い出すわけであります。

議員は、それぞれ健康には留意しなければい
けませんが、突然の逝去という悲報に接し、
本当に悲しい出来事でありました。

どうかこの上は、同胞議員の御冥福を祈り、
より一層議員としての任務を果たしてまいり
たいというふうに思っております。

一言、発言させていただきました。ありがと
うございました。

本日の審査日程は、お手元に配付のとおりで
あります。

これより、各分科会長の報告を求めます。
まず、総務文教分科会長 高道 秋彦君。

総務文教分科会長 総務文教分科会での審査について御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件1件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第94号中、企画管理部所管分の中規模ホール整備官民連携事業における債務負担行為の設定について申し上げます。

委員から、このような場所にまとまった市有地があるということは貴重なことだと思うが、今回はなぜ中規模ホール整備の余剰地を売却することにしたのかとの質問がありました。

これに対し当局から、富山駅北地区は本市が進めているコンパクトシティ政策の観点からも非常に重要な区域だと考えており、オーバード・ホール北側の市有地約8,500平方メートルを有効に活用して、魅力ある都市空間の形成を図っていく必要があると考えています。

これまでに実施した調査におきましても、中規模ホールと民間施設を別々に整備するのではなく、一体事業として実施するほうが有効な活用につながるといった意見もあり、市といたしましても、敷地全体の魅力向上と余剰地の最適活用が期待できることから、中規模ホールと民間施設の整備を一体で進めること

にしましたとの答弁がありました。

これに関連し、別の委員から、民間事業者へ余剰地を売却して収入を得るという考えには賛成である。土地の有効活用ができるような整備位置であるとか、オーバード・ホールと中規模ホールの両方がうまく利用できるような接続の方法については、今後、十分に検討してほしいとの要望がありました。

以上、総務文教分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、厚生分科会長 高田 真里君。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件1件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第94号中、こども家庭部所管分の未婚

の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金支給事業について申し上げます。

委員から、本事業は国の臨時的な措置としての単年度事業だと思われるが、1回の支給のためだけに支給額とは別にそれと同等以上の金額を投じる形になるのか。

国庫支出金ではあるが、事業の実施のために支給するもの以上にお金をかけることに疑問を感じるのだが、当局の所見はどうかとの質問がありました。

これに対し当局から、今後については未定ですが、今回、システムを導入しない場合は、手作業で行うことになり、それに伴うヒューマンエラーの可能性を下げることから、対象者については既存のデータをぜひ利用させていただいて、国の補助金によりシステムを改修して作業をしたいと考えておりますとの答弁がありました。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。

次に、経済環境分科会長 江西 照康君。

経済環境分科会長

経済環境分科会での審査につきまして御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件2件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

まず、議案第94号中、環境部所管分の公衆便所維持管理事業について申し上げます。

委員から、西別院街路便所について、以前に移転改築する計画を策定し、予算も確保していたとのことだが、一部の住民の方々から賛同が得られず、実行には至らなかったとのことだが、今回の改築については、土地所有者との交渉はスムーズに進んだのか、また、周辺住民の皆さんの意見はどうであったのかとの質問がありました。

これに対し当局から、土地の所有者には本事業に御理解をいただき、前向きに御協力いただきました。

また、地元の町内会や商店街の皆様にも御理解をいただくと、現在地での改築に向けて賛同が得られたものと考えていますとの答弁がありました。

次に、同じく、議案第94号中、商工労働部

所管分の上条工業団地汚水処理施設の設備更新について申し上げます。

委員から、今回更新される設備について、今までとの違いについて、具体的に教えてほしいとの質問がありました。

これに対し当局から、今回の更新で、汚水槽の中に設備を設置する水中式から汚水槽の外に設置する陸上式に仕様変更することにより、修理やメンテナンスが容易になり、費用の低減が図られるとの答弁がありました。

以上、経済環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、建設分科会長 押田 大祐 君。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件1件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第94号中、建設部所管分の街路整備事業について申し上げます。

委員から、大島橋の設計瑕疵について、このような事態を二度と繰り返さないようにするために、どのような再発防止策を考えているのかとの質問がありました。

これに対し当局から、国の業務委託の照査要領に準じたチェックリストを作成し、委託の照査や検査に活用することを検討するとともに、技術職員全員が設計に対するリスクを共有し、建設技術統括監による「橋梁など構造物設計の厳しさ」といった設計者としての自覚を促す研修を開始しております。

さらに、難易度の高い設計業務委託について、経験豊富な技術レベルの高い業者を選定する仕組みを確立するため、実績や技術者の資格要件の定め方などについても研究しております。これらにより、再発防止に努めてまいりたいと考えておりますとの答弁がありました。以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。

以上で、質疑は終結いたしました。

これより、議案第94号、議案第95号、以上2件を一括して採決いたします。

各案件は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

異議なしと認めます。

よって、各案件は原案可決されました。

これで、6月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和元年6月定例会の予算決算委員会を閉会いたします。

令和元年6月定例会
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 柞山数男

署名委員 岡部 享

署名委員 五本幸正
(年長委員)